

医療法人 喬成会
介護老人保健施設
オアシス21様



介護老人保健施設 オアシス21様 外観

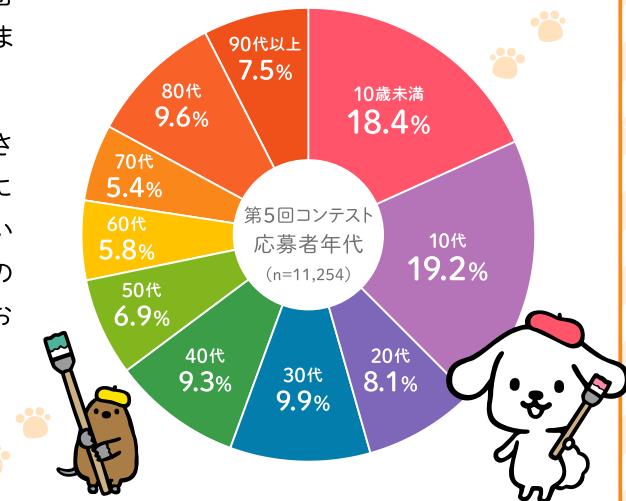
老若男女、誰もが自由に楽しめることは、塗り絵の最大の魅力のひとつ。コロリアージュ（大人向けの細かな図柄の塗り絵）を題材にした2024年で第6回を迎える「ダス犬 コロリアージュコンテスト」（株式会社ダスキン主催）も、0歳から100歳を超える、実に幅広い年齢層の方々にご参加をいたしております（第5回 / 2023年実績、以下同様）。10歳未満も70歳以上も、ともに20%に迫る応募者の年齢分布を見ても、その間口の広さを感じていただけるかと思います。

その中で、2023年に目立ったのが、70代以上の方々の「団体応募」、いわゆるシニア関連施設からのご応募でした。のべ4604作品、496団体の団体応募のうち、シニア関連施設の作品は1996作品（262団体）にのぼりました。

「ダス犬 コロリアージュコンテスト」がシニア関連施設でどのように活用され、どのような課題があるのか、実態を把握してより良いコンテスト運営に繋げるために、2年連続で団体応募でコンテストに参加をしてくださっている介護老人保健施設オアシス21様にお話を伺ってきました。より多くの方々に「ダス犬 コロリアージュコンテスト」をご活用いただければと思い、お伺いしたお話の内容の一部を、本記事としてご紹介させていただきます。



職員の方々



塗り絵を通じて社会参加！

～コロナ禍で出会った「ダス犬 コロリアージュコンテスト」

Q. コロリアージュコンテストに参加し始めたきっかけを教えてください



オアシス21 作業療法士 大高 三樹さん

普段、こういったレクリエーションのプランは介護士チームが考えるのですが、コロナ禍で外出レクリエーションができなくなってしまい、利用者の方々の外部との関わりが一気に減ってしまいました。そこで、リハビリチームでも何か外部との接点をもてるレクリエーションはないか、と考え、施設内で終わらない「コンテスト」を調べ始めたのがきっかけでした。

それまでも施設内で塗り絵をされている利用者の方がいたり、我々から塗り絵を配布することはあったので、塗り絵なら参加しやすいかな、と思い「塗り絵 コンテスト」で検索して、「ダス犬 コロリアージュコンテスト」を見つけました。シニア賞など、表彰も充実していて、いつもは塗り絵をしない人も参加してくれるかな、と思えたのも参加を決めた理由です。

全応募作品が掲出されたウェブサイトで、より社会とのつながりを実感

下絵4種類を20枚ずつ出力して施設内に設置したのですが、「キャラクターが可愛い」という声が多くて、結構すぐになくなってしまったので、追加で印刷もしました。自宅に持ち帰って塗ってくれるはするものの、恥ずかしがって応募はしてくれない方もいらっしゃるのですが…(笑)。

「コロナ禍での社会参加」という意味で、コンテストに参加できたというのももちろん良かったのですが、オンラインのミュージアム※があったことで、よりその目的を達成できたと思っています。スタッフがウェブサイトを開いて、利用者の方にお見せすると、「自分の作品が載っている!」と喜んでいただけるのはもちろん、「他の作品が見られて楽しい」という声も多く、想定以上の社会との繋がりも作れたのかなと思っています。

① ミュージアムとは

※その年に応募された全作品を公開しているオンラインサイト。応募すると2~4週間程度で随時公開され、応募期間から12月末までの間、誰でも閲覧することができる。



コンテスト参加を通じて、施設内のコミュニケーションも活性化



応募した作品はコピーして館内に掲出しているのですが、貼り出していると利用者の方がワラワラと集ってきて、そこでコミュニケーションが生まれる、という波及効果もありました。作品を見て声をかけて初めてしゃべるようになった利用者の方々もいらっしゃいましたね。

「日常的に絵を描いたり塗り絵をしても人に見せる機会がないが他の人に褒められてモチベーションが上がった」、「上手い人の作品を見て参考にした」といった声も聞かれました。

熱心に取り組まれている方は、他の人の作品を見て「負けられない」と創作意欲を燃やしていましたね(笑)。

今年こそは入賞を…!

Q.利用者の方々にはどのようなご案内をされますか?

難易度が高いので「長めに時間をかけたほうがいいよ」と案内しています。概要と塗り方のコツをいっしょにしたポスターを作っていておいたのですが、「勉強になる」とみんな見てました。賞金や賞品は大きめに載せておきました(笑)。

自宅に持って帰って塗る方がほとんどなので、持って来て渡してくれたり、連絡帳に挟んで提出される方が多いです。

みんなモチベーション高く参加してくれているので、今年こそは入賞者が出て、みんなで盛り上がりたいと思っています!



今も
みんなと一緒に
楽しみます♪

REAL VOICE 参加してくださった方の声



兼西 英司様(91歳)



稻場 ミエ様(89歳)

— コンテストご参加ありがとうございます。塗り絵のどのようなところを楽しんでいただけていますか？



兼西 完成した時の「キレイにできた」という気持ちと、人に見てもらえる、見て喜んでもらえるのが嬉しいです。ダスキンさんの塗り絵は細かくて大変ですが、他の人の作品を見て「負けないように」と頑張っています(笑)。ふだんから絵を描いたり塗り絵をしたりしていますが、コンテストだと「せっかくだから力試しに…！」と力が入りますね。



稻場 色を考えるのが楽しいです。勤め終えて10年前くらいからずっと辞めていた絵や塗り絵を再開して、自分の作品に満足することはなかなかないのですが、塗っている間は嫌なことを忘れられて楽しいです。

— 塗っている時、どのようなことを考えたり気にされたりしていますか？



兼西 見たことがある風景を思い出して、その思い出に近づくように塗ってます。去年だと、温泉はよく行っていたので塗りやすかったです。



稻場 影の付け方に工夫しています。あとは飾られている他の人の塗り絵も参考にしています。兼西さんに初めて話しかけたのも、飾られている兼西さんの作品を見たのがきっかけでした。色々取り組んでいる感じがして、興味を持って話しかけて知り合いになりました。

— 今年度も参加していただけそうですか？



兼西 はい、ぜひ挑戦したいです。今年こそは賞を取りたいですね。今年のテーマはスポーツなんですか？ゴルフは上手ではなかったけれど、仕事でやってたことを思い出しますね。野球でもなんでも、スポーツを見るのは好きなので、とても楽しみです。



稻場 私も挑戦したいです。楽しみです。ダスキンさんの塗り絵は本当に難しいですが、難しいことを考えるのが良いのかもしれないですね。頑張ります！



インタビュー後記

ダスキン広告・広報室

笑顔が溢れる大変温かな雰囲気の施設でした。
利用者の社会参加を願うスタッフの方々の強い想いに大変感銘を受け、
少しでもお役立ちできたことを嬉しく思います。
ぜひ今年も入賞を目指して楽しく取り組んでいただけたら幸いです。

